戦場にかける橋（1957）

THE BRIDGE ON THE RIVER KWAI

メディア　映画
ジャンル　ドラマ　戦争
製作国　アメリカ
色彩　Color
時間　155分
初公開日　1957/12/25
公開情報　ＣＯＬ
映倫　G
リバイバル　1973/04［ＣＯＬ］

【キャッチコピー】
全世界の賞を独占・映画史上最大の栄誉に輝く傑作！
人間の名誉と誇りを賭けた　壮烈な男の戦い！　今ひびくクワイ河マーチにのって　大画面に甦える！（リバイバル時）

【解説】
　巨匠Ｄ・リーンが、第二次大戦を背景に戦争の愚かさと人間の尊厳を描き出した不朽の名作。タイとビルマの国境近くにある日本軍の捕虜収容所では、連合軍捕虜を使って、国境に流れるクワイ河に橋を架ける準備が進められていた。だが、英軍大佐（ギネス）はジュネーヴ協定に反するとして、所長（早川雪洲）と対立。一方、米軍捕虜の海軍少佐（ホールデン）は脱走を試み、辛くも収容所を後にした。英軍大佐の気骨に共感した所長は、捕虜の恩赦を条件に再度協力を要請。捕虜たちに生きがいを与えようと考えていた大佐はこれを承諾し、こうして建設工事が始まった。だが同時に、生き延びた米海軍少佐の手引きによって、連合軍による架橋爆破作戦も開始されようとしていた……。
　戦後５０年を過ぎ、次第に明らかになってきた戦中当時の証言によれば、日本軍の行った捕虜を使っての労役にはもっと非人道的なものがあり、この映画で描かれているような事は絵空事でしかないのだろうが、その事実とこの作品の良さは別次元で語られるべきであろう。我々にはもはやこの“戦争映画”は寓話としてしか観る事ができないかもしれないが、その寓話は非常に感動的で、人間ドラマとしての素晴らしさ、スペクタクルの醍醐味を持っているのだ。アカデミー作品・監督・脚色・主演男優（Ａ・ギネス）・編集・撮影・音楽賞受賞。脚本のＭ・ウィルソンとＣ・フォアマンは当時赤狩りの疑いをかけられていたためクレジットを削除されていたが、１９８４年のアカデミーで改めてこれを表彰、後に製作されたドルビー改訂版ではクレジットも復活した（Ｃ・ウィリンガムは元々クレジットされていない）。

【クレジット】

監督	デヴィッド・リーン	David Lean	
製作	サム・スピーゲル	Sam Spiegel	
原作	ピエール・ブール	Pierre Boulle	
脚本	カール・フォアマン	Carl Foreman	
	マイケル・ウィルソン	Michael Wilson	
撮影	ジャック・ヒルデヤード	Jack Hildyard	
編集	ピーター・テイラー	Peter Taylor	
音楽	マルコム・アーノルド	Malcolm Arnold	
出演	アレック・ギネス	Alec Guinness	ニコルスン隊長（大佐）
	ウィリアム・ホールデン	William Holden	シアーズ

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.

早川雪洲	Sessue Hayakawa	斎藤大佐
ジャック・ホーキンス	Jack Hawkins	ウォーデン少佐
ジェフリー・ホーン	Geoffrey Horne	ジョイス
ジェームズ・ドナルド	James Donald	軍医クリプトン
アンドレ・モレル	Andre Morell	グリーン大佐
アン・シアーズ	Ann Sears	
ピーター・ウィリアムズ	Peter Williams	
ヘンリー大川	Henry Okawa	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.